

登録コード	HS430400	開講年度	2026				
授業題目	森林立地学特論				担当教員	小林 元 他	
英文授業名	Advanced Lecture in Forest Environmental Science				副担当	城田 徹央	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HS加, 2025HS加, 2024HS加, 2023HS加						
	【専攻】理工学系の専門分野における深い知識・卓越した技能				国内外の先端的研究者による研究成果を自ら収集し学習することにより，森林立地学における深い知識を習得することができる。		
(2)詳細 /Detailed information	森林立地学的研究において必要とされるスケール論，国内外の先端的研究者による研究成果を学習します。さらにこれら知識を基盤として，フィールドでの調査演習と調査データを用いての解析演習により，研究手法を理解することができます。						
(3)授業の概要 /Overview of course	1. 森林土壌や森林植生は，立地環境の影響を受け，それぞれに異なる形態や構造を形成します。立地環境の要因として，特に重要となる地形について解説します。 2. 地形における特性を把握する上で，スケール論は重要な視点です．様々なスケールで地形を評価することの意義と方法を解説します。 3. 森林の基盤である立地の特性に関する研究は，森林生態学や育林学の理解をより深めます。 4. 立地に関する研究が，林業および森林管理や自然管理にいかにより必要であるかの理解を深めます。 5. フィールドにおける調査や調査データを用いての演習においては、受講者各人の独創性を尊重し行います。						
(4)授業計画 /Course plan	1 授業計画ガイダンス 2 森林立地学概要 3 森林立地学トピックス1 4 森林立地学トピックス2 5 森林立地学トピックス3 6-9 調査演習（2日間） 10 解析演習 11-14 調査演習及び解析演習（2日間） 15 総合論議、試験						
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	講義中に実施する演習形式での論議，ディベート，及び授業後に作成した受講報告書により総合的に評価します。						
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation on criteria	総合得点が90点以上を秀，80～89点以上を優，70～79点を良，60 - 69点を可，と評価します．出席が6割以下の学生は不可とします．						
(7)事前事後学習 の内容/Prep and review work	データを用いての解析において，事前に類似する内容の論文を検索し，その内容を理解しておくことが望まれます。						
(8)履修上の注意 /Notes	電子メールによるコミュニケーション，レポート報告書提出を多用するので，各自メールを随時確認して下さい。						
(9)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	オフィスアワー:授業後及び随時に対応します（メールにて連絡して下さい）。メールを利用した質問にも随時対応します。 メールアドレス：teokano@shinshu-u.ac.jp						
(10)授業の形式 /Course format	1～5回は講義形式，6回～14回は演習形式。 15回目は試験（口頭試問）。						
【教科書 /Textbook(s)】	使用しません。						
【参考書 /Reference work(s)】	Plants in Changing Environment -Linking physiological, population and community ecology- その他，その都度，参考となる関連論文を指示します。						